

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 18日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者  
住 所 茨城県日立市多賀町5丁目8番13号  
氏 名 株式会社白土工務店  
代表取締役 白土 仙一郎  
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）  
電話番号 0294-33-1014

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社白土工務店
事業場の所在地	日立市多賀町5丁目8番13号
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業（総合工事業）
②事業の規模	前年度完成工事高 12億9623万円
③従業員数	21名（2024年4月1日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートがら：中間処理業者へ委託⇒再生砕石 アスコンがら：中間処理業者へ委託⇒再生砕石 がれき類：中間処理業者へ委託⇒再生砕石 ガラス陶磁器くず：中間処理業者へ委託⇒再生路盤材 等 廃プラスチック類：中間処理業者へ委託⇒RPF 等 金属くず：中間処理業者へ委託⇒製鋼原料 紙くず：中間処理業者へ委託⇒燃料 等 木くず：中間処理業者へ委託⇒原料・燃料チップ 繊維くず：中間処理業者へ委託⇒燃料 等 廃石膏ボード：中間処理業者へ委託⇒石膏ボード原料 等



## (第 2 面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">社 長</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">専務</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">常務</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">相談役</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">工事部部長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">土木次長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">土木課長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">建築課長 5 名</div> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">社 員</div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排 出 量	1520.840 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 廃棄物と有価物の分別徹底 ・ 廃棄物種類ごとの分別徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排 出 量	1441.020 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 上記項目の継続 ・ 職員の環境対策への意識向上 ・ 優良認定処理業者への委託の推進		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがら、アスコンがら、木くず、ガラス陶磁器くず、 廃プラスチック類、金属くず、紙くず、繊維くず、廃石膏ボードを それぞれ分別している。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記廃棄物の分別に加え、金属くず、紙くず等の分別徹底を実施する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	1520.840 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	228.32 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1272.23 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、廃棄物を委託できる業者を選定。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全 処 理 委 託 量	1441.020 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	241.000 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1200.020 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者を処分委託先として優先的に選択する。 廃棄物の分別を徹底し、再利用業者、熱回収業者へ処理を委託し、 最終処分量削減を図る。		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 別紙① 令和 5 年度実績

産業廃棄物 の種類	処理委託先別処理委託量				
	全委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者への 処理委託量
コンクリートがら	1026.670t	34.040t	992.630t	0.000t	0.000t
アスコンがら	222.220t	0.360t	221.860t	0.000t	0.000t
混合	74.140	74.140t	0.000t	0.000t	0.000t
木くず	112.000t	54.300t	57.700t	0.000t	0.000t
廃石膏ボード	10.170t	10.170t	0.000t	0.000t	0.000t
ガラス	27.620t	27.620t	0.000t	0.000t	0.000t
廃プラ	11.90t	11.900t	0.000t	0.000t	0.000t
水銀仕様製品	0.040t	0.000t	0.040t	0.000t	0.000t
がれき	11.490t	11.490t	0.000t	0.000t	0.000t
がれき（石綿含有）	20.290t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
繊維くず	1.680t	1.680t	0.000t	0.000t	0.000t
金属くず	1.220t	1.220t	0.000t	0.000t	0.000t
紙くず	1.400t	1.400t	0.000t	0.000t	0.000t
総排出量合計	1520.840t	228.32t	1272.23t	0.000t	0.000t

## 別紙② 令和 6 年度目標

産業廃棄物の種類	全委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
コンクリートがら	1000.000t	30.000t	970.000t	0.000t	0.000t
アスコンがら	200.000t	20.000t	180.000t	0.000t	0.000t
混合	70.000t	70.000t	0.000t	0.000t	0.000t
木くず	100.000t	60.000t	40.000t	0.000t	0.000t
廃石膏ボード	8.000t	8.000t	0.000t	0.000t	0.000t
ガラス	25.000t	25.000t	0.000t	0.000t	0.000t
廃プラ	10.000t	10.000t	0.000t	0.000t	0.000t
水銀仕様製品	0.020	0.000t	0.020t	0.000t	0.000t
がれき	10.000t	10.000t	0.000t	0.000t	0.000t
がれき（石綿含有）	15.000t	5.000t	10.000t	0.000t	0.000t
繊維くず	1.000t	1.000t	0.000t	0.000t	0.000t
金属くず	1.000t	1.000t	0.000t	0.000t	0.000t
紙くず	1.000t	1.000t	0.000t	0.000t	0.000t
総排出量合計	1441.020t	241.000t	1200.020t	0.000t	0.000t